

## 世田谷ケアマネジャー連絡会 10月役員会次第

日 時：2022年10月25日 19:00~21:10

場 所：オンラインにて

参加者：世田谷区：安田

相川・渡部・一宮・川上・横田・新居・齋藤・安藤・花尾・森川・佐藤

### 【世田谷区介護保険課より】

・要介護認定期間の延長について、厚労省からは今年度いっぱいという報告がある。その他、各自治体による弾力的な運用が可能ということになっているが、世田谷区はどうか？

→現時点では未定

### 【公的会議への出席報告】

・11月に特別養護老人ホームの施設長会に連絡会に呼ばれている。場所はエリザベート成城。内容はショートステイの有効活用について。

施設部会で積極的に参加してほしい。11/10（木）、11/15（火）のどちらか。相川さんが確認して周知。

（連絡会としての意見）

- \* チェックイン、チェックアウトの時間をもう少し融通を効かせてくれてもいいのではないかな。
- \* なかなか取れないイメージはある。
- \* 準備の書類が多い。
- \* 荷物やルールが多い。
- \* 有料ホームが安くとれて、お客さま感覚で受け入れてくれる。利用しやすい感覚がある。選択の幅が広がっているのは確か。
- \* もう少し施設の相談員なりが地域に出る機会があってもいいのではないかな。
- \* ショートステイが少ないのであれば、積極的な営業はかけているのか。
- \* 医療処置の利用者をもう少し積極的に受け入れてくれてもいいのではないかな。

（当日参加者）

相川、渡部、齋藤、森川（?）、川上、佐藤

### 【各部会より】

#### ■施設

- ・10/19（水）部会開催し8名参加。
- ・事例検討、勉強会をした。第2表に加算の料金を入れなければならないと情報があった。

- ・都内高齢者施設へのリハビリ専門職派遣事業の周知があった。
- ・施設へのリハビリ職派遣事業ができたらしい。
- ・施設のお役たちガイド令和4年版を作成中。

#### ■主マネ

- ・11/25の開催に向けて準備を進めている。講師である区への依頼文は提出済み。案内チラシは近日中に発送。今回は区との共催になるので、区からのファックス案内となる。参加の申し込みはメールを原則とした。資料の周知もメールで行うことにした。

(役割分担)

司会：安藤（花尾）

接待：相川・渡部

写真：渡部

受付：川上・齋藤

会計：一宮・森川

会場：新居ほか

ファシリ：安藤（花尾）・相川・渡部・新居・北澤・石岡・佐藤

ほか協力会員へ依頼する

(残された課題)

次回の役員会までにグループ分け

集合時間は、会場を確認して後日安藤さんから周知

#### ■研修

- ・11月中旬に打ち合わせをし、12月か1月をめどに研修開催予定。オンラインにするか対面にするかは未定。内容はケアマネジメントプロセスの構造について。
- ・適切なケアマネジメントについての説明もできればいいと思っている。

#### ■広報

- ・各部会の活動や研修について、ホームページ上でお知らせを早くしていきなす。
- ・ブログを使用する。操作方法を今後共有していく。
- ・ブログ作成のためのIDとパスワードについては、後日役員会ないで共有。
- ・案内→ブログ→アンケート結果の共有（後日、広報部会にてルール決める）

#### 【今後の活動展開について】

(設立目的)

本会は介護支援専門員としての役割を十分認識し、会員相互の資質の向上を図ると共に、世田谷区介護保険事業の充実と適正な運営に寄与することを目的とする。

(今日のテーマ)

運営規定に掲げられている「会員相互の活発な意見及び情報交換を行うこと」が実践できて

いるかの討議。

■できていること

- ・からなず研修ごとにグループワークしているので、できているのでは。
- ・設立目的に依拠した意見交換ということであれば、テーマを決めたグループワークが必要なのではないか。その後、アンケートで意見収集はできているのではないか（そこで出たテーマでの議論は出来ていない）。
- ・一人ケアマネが当初は多かった。発足当時はそこに向けた顔の見える関係作りが目的でこのテーマを掲げた。今は十分ネットワークが構築できているのではないか。このテーマの意味合い自体が変わっているのかもしれない。活発な意見交換、情報交換の目的は変わってくるのではないか。

■できていないこと

- ・グループワークとして意見交換はできているが、それはこちらが準備したテーマに限られている。そもそも何が困っているか聞いていないのでは。
- ・以前は、研修終了後に交流会をやっていた。そこではテーマに限らないフリーな話し合いができていた。今はそれができていない。
- ・以前は交流だけを目的としたイベントをしていた。それが思うように集まらずに淘汰されていた。それを研修の後に統合した。今はそれが出来ていない。
- ・あまり人数が多い中でのグループワークでは、フリートークにならない。
- ・アンケートで様々なテーマを収集できているが、それに答えられていないのではないか。

■感想

- ・以前はみんなで一体的になって行い、みんなで決めてきた。今は専門的になってきた。レベルがアップしている。
- ・ネットワークが目的なのか、課題を抽出するのが目的なのか。ここでいうのはネットワークの構築。
- ・職能団体としてやれることを、テーマに当てはめていく必要があるのではないか。
- ・ケアマネの歴史がまだ浅いことを考えると、これから煮詰めるにどうしたらいいか課題。

■これから取り組むこと

- ・アンケートを活用して、現場ではどういう課題を抱えているかということの意見抽出していく必要があるのではないか。そこに対してのテーブルを準備していくことができるのではないか。その意見に会の目的を重ねていく作業が必要ではないか。
- ・個の意見や困りごとを集約していく作業について、どういう項目を新たに設けるかは今後の課題としていく。メール相談？研修？意見交換？
- ・行政の立場からすれば、地域の要介護高齢者は、ケアマネに頼めばなんでもやってくれるんじゃないかって勘違いが生じている。この誤解を解消するためには、個人のケアマネの立場では難しい。そこが職能団体の役割になってくるのではないか。

次回：2022年11月22日（火）19：00 オンラインにて